



International Symposium 2018 hosted by the Center for Peace, Hiroshima University
2018年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム



“Peace” from the viewpoint of “Hiroshima and the world” :
the past, the present, and the future
ヒロシマの平和、そして世界の平和
ー過去・現在・未来への展望



2018年4月、平和科学研究センターは「広島大学平和センター」に発展し、平和に関する研究・教育において、これまで以上に学内外で「中心的役割」、まさに「センター」を担えるよう、機能強化を図ることとなりました。これを記念し、広島大学平和センターは国際シンポジウムを開催します。

2017年9月に核兵器禁止条約が成立しました。これは、これまでの被爆者の「核なき世界」実現へ向けた不断的な努力、市民社会の力、人道的な価値観の全世界的な拡がりによって実を結びました。この度のシンポジウムでは、「ヒロシマ」の原点である原爆被ばくの問題を出発点として、今日の「ヒロシマ」が、平和構築をはじめ世界の平和に果たしうる役割について議論し、未来を展望します。

On April 1, 2018, the Institute for Peace Science evolved into the Center for Peace at Hiroshima University so that it can play “a central role”, literally as “the Center” in the field of peace studies and education. To commemorate this renewal, the Center for Peace will hold the 2018 International Symposium. In September 2017, Nuclear Weapons Ban Treaty was signed. This groundbreaking treaty was the fruit of unwavering and sincere efforts toward Nuclear Zero by Hibakusha or A-bomb survivors; the rise of Civil Society; and the spread of humanitarian values around the Globe. In this symposium, we will first argue that Hiroshima’s Peace emerged from painful experiences of the Atomic bombing. Secondly, we will explore what Hiroshima can contribute to peacebuilding and other issues to attaining the world peace. Finally, we will discuss the prospect for our future.

Date & Time: August 2nd 2018, 13:30 - 17:00

***Venue open 13:00**

Venue: Higashi-Senda Innovative Research Center M401, Hiroshima University

***Admission free. 100 seats available.**

Language: English / Japanese (with simultaneous interpretation)

Hosted by :The Center for Peace , Hiroshima University

【日 時】 2018年8月2日 (木)

13:30-17:00

※13:00開場

【場 所】 広島大学

東千田未来創生センターM401

※入場無料 (先着100名)

【言 語】 英語 / 日本語 (同時通訳付)

【主 催】 広島大学平和センター

*Use of public transportation is recommended as parking spaces on campus are limited.

<From Hiroshima Station>

Take the tramway No.1 bound for Ujina Alight at Nisseki-byion-mae stop.
Take the bus No.50 bound for ALPARK (by bus stop No.6)

* 駐車場は台数に限りがあり有料ですので公共の交通機関でお越し下さい。

<広島駅からの行き方>

広島電鉄路面電車1番線 (宇品行) 乗車 日赤病院前下車 徒歩1分
広島バス50号東西線 (アルパーク方面行) (6番乗場) 乗車

Due to the limited availability of seats we recommend early registration. Please contact us by e-mail, FAX, or by telephone with your name, affiliation or company, contact e-mail address or your telephone number.



お席に限りがありますので、参加ご希望の方は、事前申し込みをお勧めします。
ご氏名、ご所属、連絡先をFAX (送信表不要、下記をご利用ください)、またはメール (件名を「シンポ申込み: 氏名」とする)、電話にて事前にお申し込み下さい。
席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。

<FAX送信用>

Name ご氏名	
Affiliation ご所属	
Tel or E-mail	

<申し込み先/Contact Address>

広島大学平和センター
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
The Center for Peace, Hiroshima University
Higashisenda-machi 1-1-89, Naka-ku,
Hiroshima 730-0053
TEL : 082-542-6975 / FAX : 082-245-0585
E-mail : heiwa@hiroshima-u.ac.jp
URL : http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/



“Peace” from the viewpoint of “Hiroshima and the world”: the past, the present, and the future
ヒロシマの平和、そして世界の平和ー過去・現在・未来への展望

13:30～ 13:40 Opening Remarks/開会の言葉



Mitsuo OCHI 越智光夫：広島大学長

1952年愛媛県今治市生まれ。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局し、ヨーロッパ留学などを経て、2007～11年広島大学病院長、2008～11年理事、2011～12年理事・副学長、2012～15年学長特命補佐を歴任。2015年4月より広島大学長。2010年に文部科学大臣表彰「科学技術賞」、2014年に産学官連携功労者表彰「厚生労働大臣賞」を受賞。医学博士。

13:40～15:40 Lecture/講演



<Introduction/趣旨説明>

Noriyuki KAWANO 川野徳幸：広島大学平和センター長・教授

広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了（医学博士）。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から広島大学平和科学研究センター教授。2017年4月より同センター長併任。専門は原爆・被ばく研究、平和学。



Connecting Hiroshima and the Marshall Islands with the perspective of "Global Hibakusha"/ ヒロシマとマーシャル諸島を結ぶグローバルヒバクシャの視点から

Seiichiro TAKEMINE 竹峰誠一郎：明星大学准教授・広島大学平和センター客員研究員

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程修了、博士（学術）。三重大学研究員などを経て現職。「グローバルヒバクシャ」の概念を提唱し、社会学と平和学の見地からマーシャル諸島の米核実験被害調査に従事。日本平和学会理事、「原爆の図」丸木美術館評議員、第五福竜丸平和協会専門委員などを務める。主著に『マーシャル諸島 終わりのなき核被害を生きる』（新泉社）。



The Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons and its Challenges for the Future
核兵器禁止条約と今後の課題

Yasuhiro FUKUI 福井康人：広島市立大学准教授

1964年、兵庫県生まれ。1987年、同志社大学法学部法律学科卒業。2009年、グルノーブル第2大学修士課程（国際安全保障・防衛コース）修了。2013年、パリ第1大学博士課程（国際法・EU法コース）修了。博士（法学）。1987年に外務省入省後、人権難民課、軍備管理軍縮課、国際組織犯罪室、国際平和協力室、軍縮会議日本政府代表部、在ルーマニア日本大使館、南山大学外国語学部（客員教授）などで勤務。2015年3月に外務省を退職し、同年4月より現職。単著に『軍縮国際法の強化』（信山社、2015年）、共著に『軍縮・軍備管理』（志学社、2017年）などがある。



Achievements and Challenges in Peacebuilding in Colombia

コロンビアにおける平和構築の成果と課題

Camilo Alberto Borrero García：コロンビア国立大学教授

コロンビア国立大学では法律学を、ロス・アンデス大学では家族法を専攻。ルーヴェン・カトリック大学大学院（ベルギー）で社会学を研究したのち、コロンビア国立大学より博士号（法学）を取得。専門は法社会学、人権、コミュニティ司法、移行期正義。コロンビア国立大学の平和研究センター「Centro de Pensamiento y Seguimiento a los Dialogos de Paz」の研究員も務める。



Peacebuilding through Business/ビジネスを通じた平和構築

Mari KATAYANAGI 片柳真理：広島大学平和センター副センター長

広島大学大学院国際協力研究科副研究科長・教授

1997年8月～1998年12月、国連東スラボニア暫定統治機構人権担当官、民生担当官。2001年に英国ウォーリック大学より法学博士号取得。2001～2003年、在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館専門調査員。2004年4月～2009年10月、ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表事務所政治顧問。JICA研究所主任研究員を経て2014年4月に広島大学准教授。2015年4月より現職。著書に『Human Rights Functions of United Nations Peacekeeping Operations』（Martinus Nijhoff Publishers, 2002）。平和維持、平和構築、紛争予防、紛争解決論の分野で人権の視点から研究を続けている。

15:40～15:55 Coffee break/休憩

15:55～16:55 Panel discussion/パネルディスカッション



<Moderator/ モデレーター>

Shinsuke TOMOTSUGU 友次晋介：広島大学平和センター准教授

2010年名古屋大学大学院修了、博士（法学）。2008年ジョージワシントン大学客員研究員、2011～14年名古屋短期大学英語コミュニケーション学科助教を経て、2014年4月より現職。著書に、「英ドーンレイと「アトミックス」たちの遺産ー原子力研究開発拠点と立地地域の関係は如何に展開したか」若尾祐司、木戸衛一編『核開発時代の遺産ー未来責任を問う』所収（昭和堂、2017年）など。

16:55～17:00 Closing Remarks/まとめ・閉会の言葉



<MC/司会>

Asami OGURA 小倉亜紗美：広島大学平和センター助教

2009年広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程修了、博士（学術）。2009～10年広島大学総合博物館客員研究員、2010～14年広島大学国際センター研究員を経て、2014年4月より現職。専門は、環境平和学、環境保全（ESD、フェアトレードを含む）。